

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成19年4月12日(2007.4.12)

【公開番号】特開2004-343708(P2004-343708A)

【公開日】平成16年12月2日(2004.12.2)

【年通号数】公開・登録公報2004-047

【出願番号】特願2004-67640(P2004-67640)

【国際特許分類】

H 04 N 5/63 (2006.01)

H 02 M 3/28 (2006.01)

H 04 N 9/29 (2006.01)

【F I】

H 04 N	5/63	
H 02 M	3/28	H
H 04 N	9/29	Z

【手続補正書】

【提出日】平成19年2月26日(2007.2.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

マイクロプロセッサ(16)と、減磁回路(22)と、通常モード及び低電力モードを有するスイッチモード電源とを包含する装置であって、

前記マイクロプロセッサ(16)は同一の出力側(19)を介して、制御信号(Uc)により前記低電力モード及び前記減磁回路(22)を制御するために、前記スイッチモード電源及び前記減磁回路(22)と接続されている装置において、

論理AND結合素子(23, 24)を有し、該論理AND結合素子(23, 24)には前記マイクロプロセッサ(16)からの前記制御信号(Uc)が入力され、且つ電力オン指示信号(U4)が前記減磁回路(22)を制御するために結合され、前記制御信号(Uc)を前記電力オン指示信号(U4)に依存して前記減磁回路(22)に結合するために、前記電力オン指示信号(U4)は前記スイッチモード電源が通常モードにある場合のみ供給され、

前記制御信号(Uc)は、前記低電力モードにおいて前記スイッチモード電源のバーストモード動作を発生させるための矩形波信号であることを特徴とする、装置。

【請求項2】

前記マイクロプロセッサは前記低電力モード並びに前記減磁回路(22)を制御するための単一ピン(19)を包含する、請求項1記載の装置。

【請求項3】

前記マイクロプロセッサ(16)からの前記制御信号(Uc)と前記電力オン指示信号(U4)とは前記減磁回路(22)を制御するためにANDゲートを介して結合される、請求項1または2記載の装置。

【請求項4】

前記電力オン指示信号(U4)は前記通常モードの間にのみ前記スイッチモード電源によって供給される供給電圧である、請求項1または3記載の装置。

【請求項5】

前記制御信号（Uc）の前記矩形波信号のデューティ率は低電力モードにおいて前記スイッチモード電源の切り替え周期を規定する、請求項1から4までのいずれか1項記載の装置。

【請求項6】

前記減磁回路（22）を制御するための前記マイクロプロセッサ（16）からの制御信号（Uc）は、前記スイッチモード電源が通常モードに切り替えられたときに受像管を減磁させるには十分な時間にわたる「イネーブル」信号である、請求項1から5までのいずれか1項記載の装置。